

NY マーケットレポート (2017 年 8 月 17 日)

NY 市場では、序盤に発表された米失業保険申請件数や、フィラデルフィア連銀景況指数が市場予想より良い内容だったことで、米国の追加利上げが意識され、ドル買いが先行した。その後、コーン NEC 委員長の辞任の噂が流れたことを受けて、米政権の先行き不安が高まり、ドルが売られる動きとなった。ただ、ホワイトハウス当局者がこの噂を否定したことから、反発する場面もあった。しかし、トランプ大統領の政権運営に対する懸念も根強く、大型減税などの早期実現に対する不透明感が強まり、株価が大幅下落となったことなども影響し、リスク回避の動きからドル円・クロス円は軟調な動きが続いた。

2017年 8月17日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.93	110.22	109.67
EUR/JPY	129.23	129.71	129.14
GBP/JPY	141.69	142.08	141.52
AUD/JPY	87.48	87.56	87.00
EUR/USD	1.1756	1.1790	1.1751

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.36	109.89
EUR/JPY	129.23	128.56
GBP/JPY	142.04	141.55
AUD/JPY	87.53	87.19
EUR/USD	1.1756	1.1663

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.54	110.28	109.45
EUR/JPY	128.39	129.15	128.38
GBP/JPY	140.97	142.03	140.87
AUD/JPY	86.41	87.37	86.38
NZD/JPY	79.82	80.48	79.79
EUR/USD	1.1720	1.1754	1.1682

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21750.73	-274.14
S&P500	2430.01	-38.10
NASDAQ	6221.91	-123.19
コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1292.40	+9.50
NY 原油	47.09	+0.31

8/18 経済指標スケジュール

15:00 【ドイツ】7月生産者物価指数
 17:00 【欧州】6月経常収支
 18:00 【欧州】6月建設支出
 21:00 【ポーランド】7月鉱工業生産販売
 21:00 【ポーランド】7月生産者物価指数
 21:00 【ポーランド】7月小売売上高
 21:30 【カナダ】7月消費者物価指数
 23:00 【米国】8月ミシガン大学消費者信頼感指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.298%	1.326%
3年債	1.457%	1.487%
5年債	1.748%	1.781%
7年債	1.997%	2.033%
10年債	2.184%	2.224%
30年債	2.773%	2.810%

ドイツ10年債	0.426%	0.445%
英国 10年債	1.087%	1.105%

8/18 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

20 : 30

ECB 議事要旨

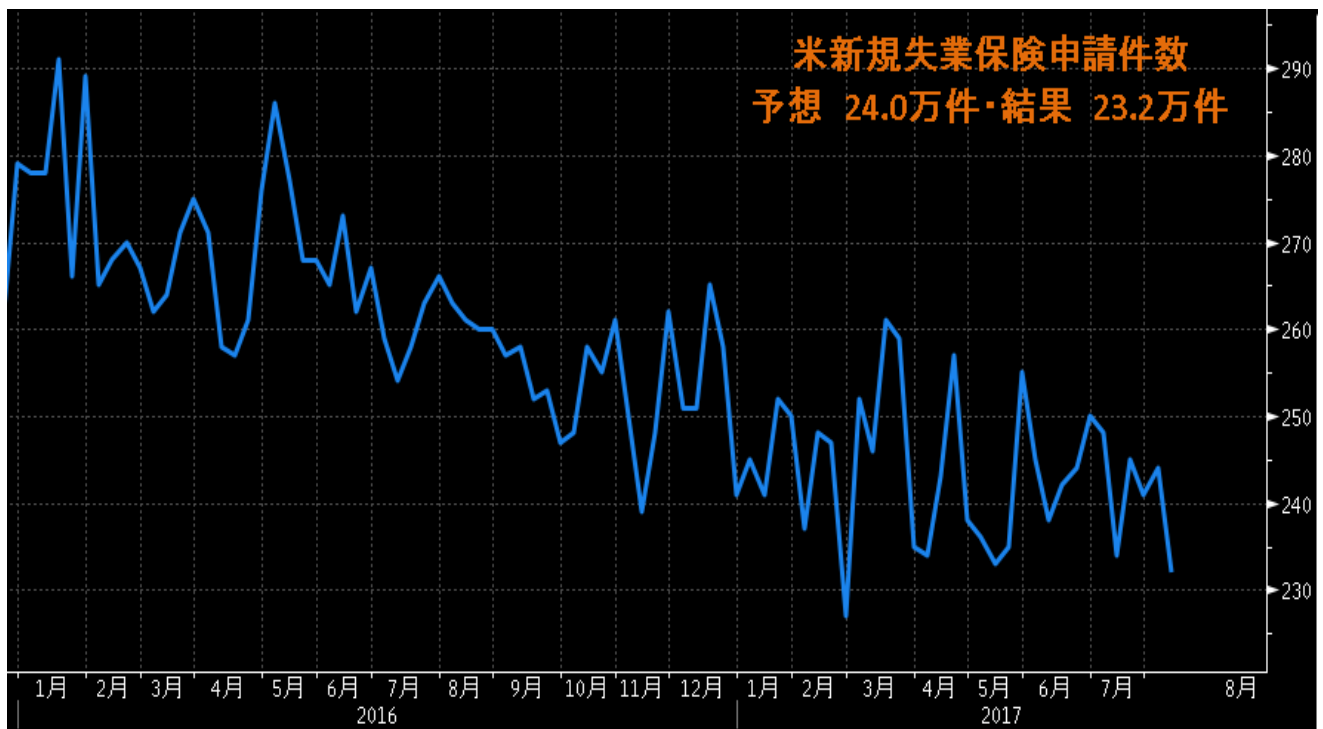
- ・「当局者はユーロが上昇し過ぎるリスクを懸念」
- ・「ユーロ高は域内ファンダメンタルズの変化を一部反映」
- ・「インフレ加速の決定的な証拠が不足」

21 : 30

≪ 経済指標の結果 ≫

米新規失業保険申請件数 23.2 万件（予想 24.0 万件・前回 24.4 万件）

失業保険継続受給者数 195.3 万人（予想 195.5 万人・前回 195.6 万人）
前回発表の 195.1 万人から 195.6 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

	申請件数	・	前週比	・	4週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
17/08/12	232,000	・	-12,000	・	240,500	・	*****	・	*****
17/08/05	244,000	・	+3,000	・	241,000	・	1,953,000	・	1.4%
17/07/29	241,000	・	-4,000	・	242,000	・	1,956,000	・	1.4%
17/07/22	245,000	・	+11,000	・	244,250	・	1,967,000	・	1.4%
17/07/15	234,000	・	-14,000	・	244,000	・	1,964,000	・	1.4%
17/07/08	248,000	・	-2,000	・	246,000	・	1,977,000	・	1.4%
17/07/01	250,000	・	+6,000	・	243,500	・	1,949,000	・	1.4%
17/06/24	244,000	・	+2,000	・	242,250	・	1,965,000	・	1.4%
17/06/17	242,000	・	+4,000	・	245,000	・	1,945,000	・	1.4%
17/06/10	238,000	・	-7,000	・	243,250	・	1,942,000	・	1.4%
17/06/03	245,000	・	-10,000	・	242,000	・	1,935,000	・	1.4%

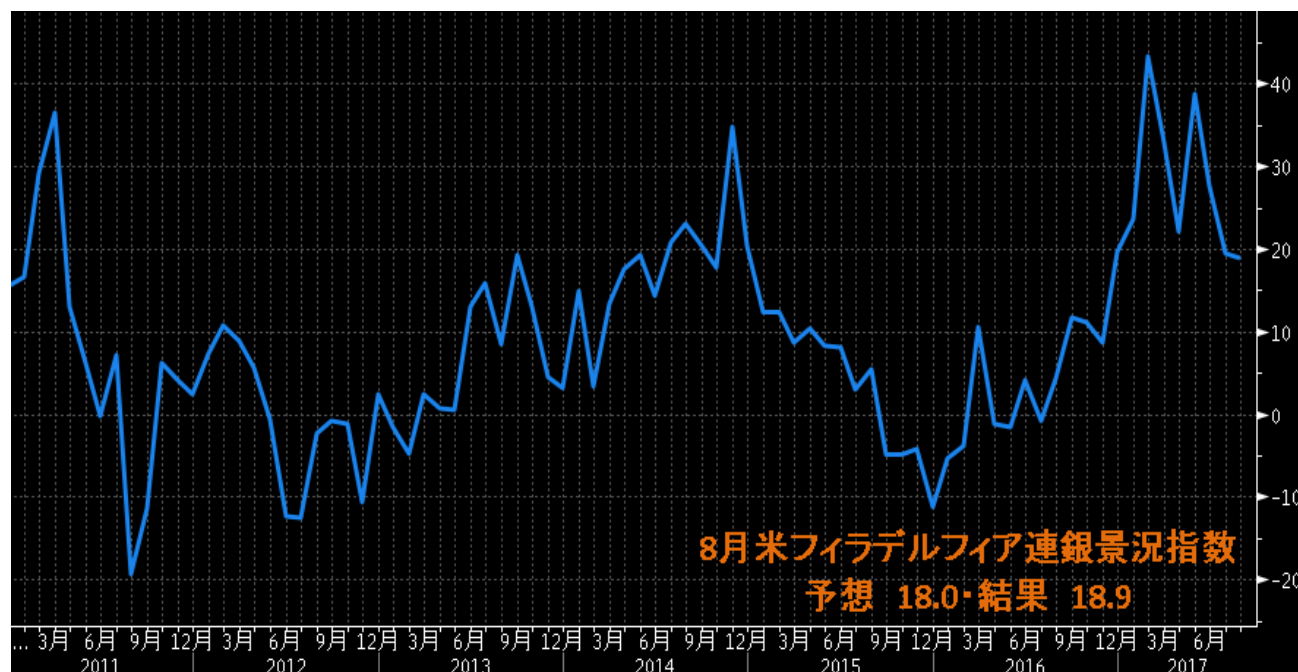
受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比-1.2万件的23.2万件的となり、2週ぶりに減少した。申請件数の4週移動平均は、前週比-500件の24万500件だった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-0.3万人の195.3万人となり、2週連続で減少。受給者数の4週移動平均は、前週比-0.6万人の196万250人。受給者比率は、前週と変わらず1.4%だった。

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

8月米フィラデルフィア連銀景況指数 18.9 (予想 18.0・前回 19.5)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀フィラデルフィア連銀指数▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
景況指数	18.9	19.5	27.6	38.8	22.0	32.8
仕入価格	21.1	19.1	23.6	24.2	33.7	40.7
販売価格	13.5	9.0	20.6	15.3	16.6	20.6
新規受注	20.4	2.1	25.9	25.4	27.4	38.6
出荷	29.4	12.2	28.5	39.1	23.4	32.9
受注残	14.5	7.2	14.0	9.0	6.6	14.4
入荷遅滞	10.5	7.4	13.9	6.4	13.2	4.5
在庫水準	-6.1	0.7	5.8	1.4	17.8	11.8
雇用者数	10.1	10.9	16.1	17.3	19.9	17.5

6ヵ月先予想

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
景況指数	42.3	36.9	31.3	34.8	45.4	59.5
仕入価格	34.8	46.6	40.9	42.7	34.7	55.7
販売価格	40.4	29.7	28.7	22.9	28.6	40.2
新規受注	49.1	39.4	31.9	47.2	55.9	61.0
出荷	44.1	25.9	38.7	38.5	44.7	54.8
受注残	16.9	11.4	3.4	11.5	22.2	16.7
入荷遅滞	6.8	1.6	0.2	7.8	4.5	7.7
在庫水準	26.2	25.8	20.4	7.4	12.1	16.3
雇用者数	33.1	27.0	30.0	29.2	37.6	38.5

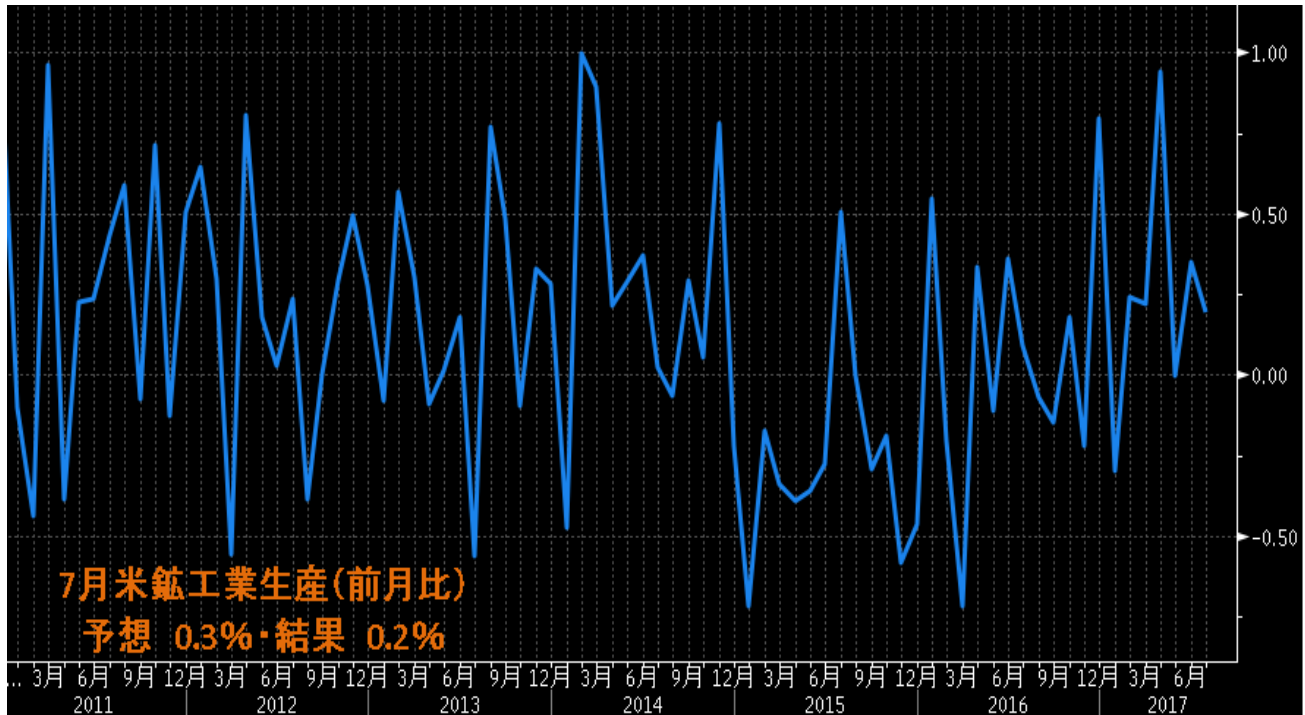
22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

7月米鉱工業生産（前月比） 0.2%（予想 0.3%・前回 0.4%）

7月米設備稼働率 76.7%（予想 76.7%・前回 76.7%）

前回発表の 76.6%から 76.7%に修正



指標結果データ

＜米鉱工業生産・設備稼働率＞

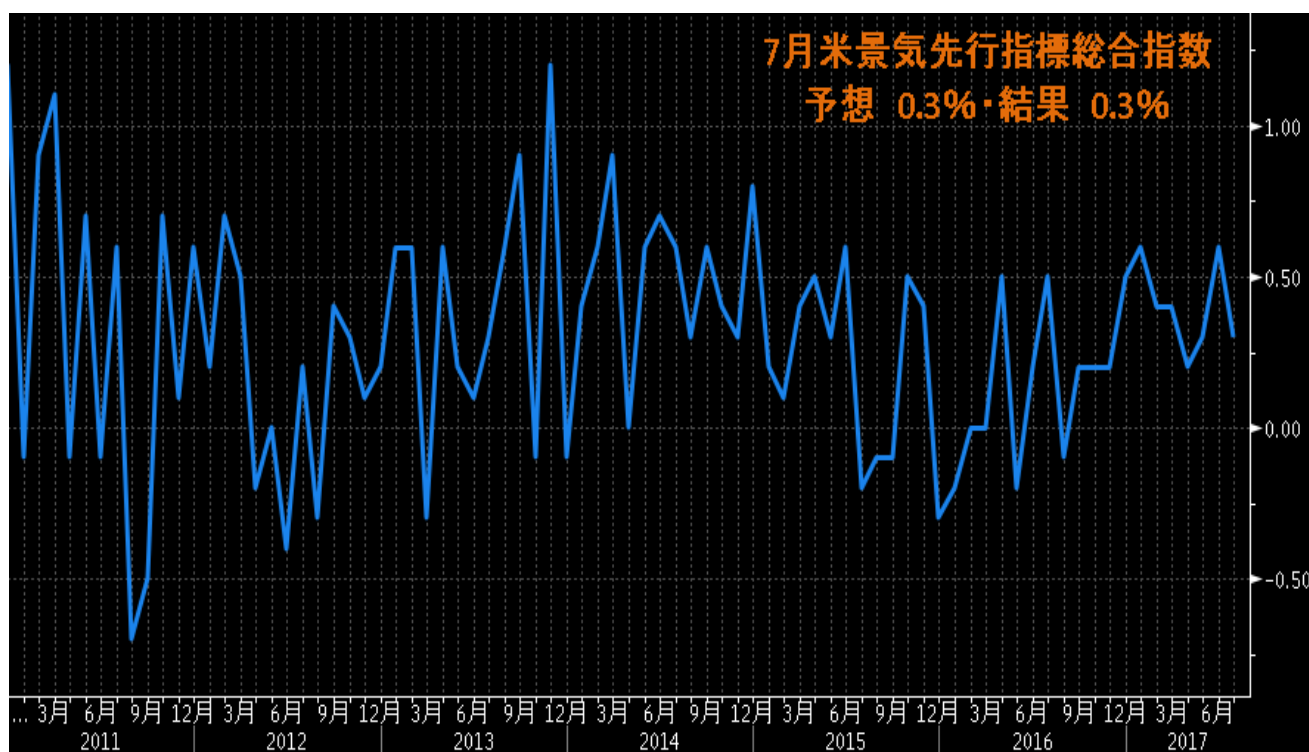
	7月	6月	5月	4月	3月	2月
鉱工業生産	0.2	0.4	0.0	0.9	0.2	0.2
製造業	-0.1	0.2	-0.6	1.1	-0.7	0.4
鉱業	0.5	2.0	1.0	0.6	-0.4	3.6
最終財	0.0	-0.2	0.0	1.6	0.3	-0.5
原材料	0.3	1.0	0.1	0.6	0.2	0.9
設備稼働率	76.7	76.7	76.5	76.5	75.9	75.8
製造業	75.4	75.5	75.4	75.9	75.1	75.6
鉱業	84.6	84.4	83.0	82.4	82.2	82.7

7月の米鉱工業生産指数は、前月比+0.2%となり、6ヵ月連続のプラスとなった。米国経済が緩やかな成長を続ける中、企業の生産活動も堅調に推移している。製造業が-0.1%と2ヵ月ぶりのマイナス、電力・ガスは+1.6%で2ヵ月ぶりのプラスだった。7月の設備稼働率は、前月と変わらず76.6%だった。FRBは、鉱工業生産指数をウェブサイトですべてより早く公表した。

23:00

＜経済指標の結果＞

7月米景気先行指標総合指数 0.3% (予想 0.3%・前回 0.6%)



出所: Bloomberg

指標結果データ

＜米景気先行指標＞

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
先行指数	0.3	0.6	0.2	0.2	0.4	0.4
一致指数	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1	0.3
遅行指数	0.1	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、トランプ大統領の政権運営に対する警戒感などが投資家心理を圧迫し、軟調な動きとなった。また、前日までの上昇で利益確定の売りが入ったことも影響した。



出所：Bloomberg

2 : 25

《 要人発言 》

ティラーソン米務長官

- ・「米国は日本との条約を尊重する」
- ・「日米、南シナ海の安全保障について協議した」

2 : 25

《 要人発言 》

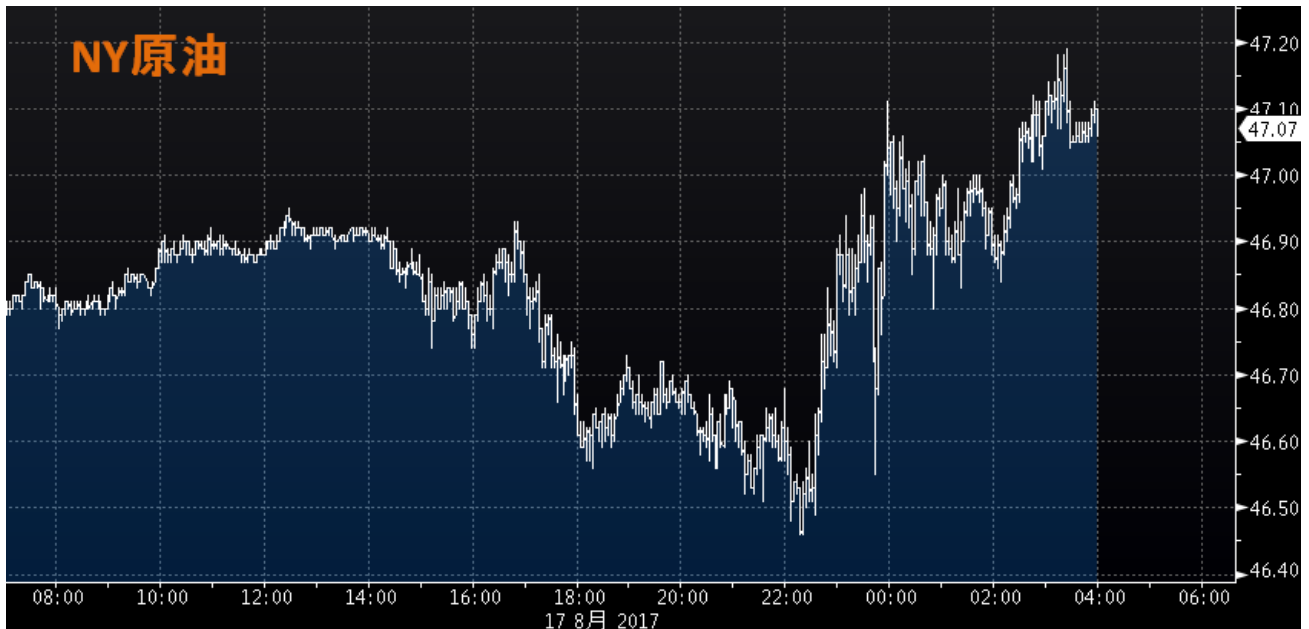
カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「米労働市場にはたるみが残っている」
- ・「バランスシート縮小を近い将来に実施することを歓迎」
- ・「追加利上げについて私は忍耐強い」
- ・「次回利上げの前にインフレ状況の進展を望む」
- ・「10年債利回り、成長期待が弱いことを示唆」
- ・「中期的にインフレ目標を達成する証拠を望む」
- ・「景気を冷やす必要性はない」

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.31 ドル高の 1 バレル＝47.09 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日までの下落の反動で買い戻しが優勢となった。また、WTI 原油の引き渡し地点となる米オクラホマ州クッシングの在庫が減少したとの報道も支援材料となった。



出所：Bloomberg

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、バージニア州で白人至上主義者と反対派が衝突した事件を巡る混乱を受け、トランプ大統領の政権運営に対する懸念が強まり、政権が掲げる大型減税などの早期実現が見通せなくなったとの見方から、主要株価は序盤から軟調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続き、終盤には前日比 274 ドル安まで下落した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標が予想より良好な結果となったことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。その後、コーン米 NEC 委員長辞任の噂を受けてドルが下落したが、否定されたことを受けて反発となる場面もあった。しかし、株価が大幅下落となったことや、米政権の先行き不安を背景に、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。